

**(仮称) ふれあいの杜子ども館コンセプト検討
市民ワークショップ開催結果**

2019年8月

目次

第1回検討会	1
第2回検討会	10
第3回検討会	22
第4回検討会	33

－ 第 1 回コンセプト検討会 －

第1回 (仮称) ふれあいの杜子ども館 コンセプト検討会 開催結果

1. 開催概要

日 時：2019年4月24日（水） 18：00～20：00

場 所：こども未来館あいぽーと（石狩市花川北7条1丁目22番地）

参加者：公募市民 10名（2名欠席）

事務局 石狩市子ども政策課 2名、建築住宅課 2名、(株)KITABA 3名

テーマ：施設コンセプトについて

内 容：

○情報提供

・検討の経緯、樽川エリアの現状と課題などについて

○自己紹介、活動紹介

○あいぽーと見学

○事例紹介

○意見交換



2. 意見交換の結果

5～6名のグループに分かれ、どのような施設になると良いか、また、施設コンセプトにつながるフレーズについて意見交換を行った。以下に、全体のまとめ及び各グループの意見について整理する。

(1) 全体まとめ

■施設コンセプト

- ・子どもの居場所、健全に遊べる場
- ・親同士が交流、情報交換、相談できる場
- ・多世代交流の場（子どもの世代間交流、子どもから高齢者までの地域交流）

■どのような施設になるとよいか

○想定される施設の規模や条件について

【施設規模】

- ・基本は平屋を想定しているということであるが、機能を盛り込んだらキャパオーバーになるのではないかと。2階や3階建てでも検討すべきではないか。
- ・また、駐車場のキャパも心配である。

【対象（幅広い世代の利用）】

- ・児童クラブに通う子どもたち以外にも、親の就業状況にかかわらず利用できる施設になるとよい。
- ・子どもだけでなく、地域の方や高齢者を含む色々な世代の方が利用できると良い。
- ・少子高齢化が進む今後を考えたときに、子どもが減っても柔軟に対応していけるような空間になると良い。
- ・そのため、時間帯や部屋によって利用者層を変えられると良い。
- ・機能は乳幼児や小学生、中高生それぞれが安心して快適に使いやすいよう、配置でしっかりと分ける必要がある。（階で分けられない場合は長岡市の○△□のように）
- ・または、時間で分けることも考えられるが、小学生と中学生の決められた門限の時間差が大きくないため、うまく時間で区切ることは難しいかもしれない。
- ・兄弟がいると、同じ空間で遊べる場所があると嬉しい。
- ・公園と併設する施設ということで、樽川エリアだけでなく札幌からも来ることが予想される。居住地などのエリアの限定はしないで良い。

【対象（世代を限定した利用）】

- ・身体の大きさや遊びの内容、学習内容的に、色々な世代の利用を考えるのは難しい。就学前、せめて中学生までの利用に限定して考えた方が良いのではないかと。
- ・0～6歳の就学前の子どもとその親が集う場が良いのではないかと。
- ・中途半端な空間にならないよう、ターゲットは絞った方が良いかもしれない。
- ・中高生及び高齢者の居場所づくりとして良い例は、西区民センターである。
- ・部活が始まる中学生以上の利用は少なくなる。

○あるとよい機能

【あそび】

- ・健全に遊べる場が良い。
- ・大人の目があることで、子どもは悪いことはしにくくなるため、こういった施設はありがたい。
- ・雨の日も冬も子どもたちが体を動かして遊べる場になるとよい。
- ・子どもは外で遊びたがるので、新潟市の事例のように玄関に屋根付きスペースを設けると、外と一体的に遊ぶことができるのではないか。その場合、冬でも利用できるようにガラスで囲うなどの工夫が必要ではないか。
- ・遊びでは、木のプールは子どものニーズがあるようである。
- ・まだ歩けない乳児も、広々とした空間で安全に自由に這いずり回る場があるとよい。
- ・家の中だけでなく、そういった広々とした空間で親子で過ごす、親も俯瞰して子どものことを見ることができる。

【運動】

- ・体育館で遊べると良い。あいぽーとの体育館は、狭くて低学年向けである。
- ・子どもが自由に運動できるとよい。そのため体育館などがあるとよい。
- ・また、親子ヨガなど、マルチに使える多目的室もあるとよい。
- ・子どもや保護者だけでなく、地域の誰もが使えるランニングスペースなどがあるとよい。

【本・図書カウンター】

- ・読書コーナーは必要である。
- ・近くに図書館がないため、図書館のカウンターだけでも設置してほしい。事前に借りたい本を予約して、カウンターで受取ることのできる仕組みができないか。

【児童館・児童クラブ】

- ・毎日通える児童館機能は必須である。
- ・既存のおおぞら児童館が、新たな施設に機能として入る予定である。
- ・児童クラブの子どもを見るスタッフは別であってほしい。

【親の交流、相談の場】

- ・親同士の交流も大切である。初めての場所や知り合いがいない空間には、なかなか来づらいが、イベントなどをきっかけに来られるようにしたい。
- ・親が育児の相談などできる場となるとよい。
- ・親同士の交流により、親も成長することができる。

【地域の交流】

- ・地域住民との交流の場になるとよい。顔見知りになることで、日常の子どもの見守りにもつながる。
- ・地域の方や高齢者などがボランティアしてもらう仕組みができるとよい。地域住民の役割や活躍の場があるとよい。
- ・子どもや保護者が他人から学んだり、時には怒られたりする機会も必要である。
- ・地域の方など広く貸し出せる、貸しスペースがあると良い。何かをつくる場や仕事をすする場、会合などの場として利用できる。

- ・サークル活動や文化活動など、若者同士でやりたいことができる場が良い。
- ・物品のレンタルができると良い。
- ・公民館のようなイメージ。

【飲食・キッチン】

- ・自由に飲食できるスペースは必要である。
- ・キッチンもあるとよい。時間貸ししてママさんたちのサークルや集まりでも使うことができるとうい。
- ・子どもたちで料理を作るなどの食育にも活用できそうである。
- ・子ども食堂など、孤食防止にもつながるとよい。

【防犯面】

- ・受付名簿はプライバシーの配慮が必要である。
- ・登録制にして、カードをタッチして入退場できる仕組みを導入しているところもある。
- ・子どもたちがいる空間には受付を設けてほしいが、外には一般の方が利用できる飲食スペースがあっても良い。（「いーてらす」の事例が良かった。）

【その他】

- ・子どもがイベントを企画できる機会や場が必要である。
- ・子どもの施設に対する意見を吸い上げて実現していくことができるとよい。
- ・乳幼児の身長や体重を測定できるとよい。そういった設備があることで、外に出るきっかけにもなる。
- ・また、大きな子どもも身長を計ることができるとうい。
- ・函館にある子ども向け施設では、デジタルモニターの前に立つと自動で身長を計測・表示してくれるシステムがある。
- ・情報発信も大切である。知らないところには行きづらいため、施設ができた後には、子育て世代に情報が届くようにしたい。現在の児童館や子育て施設間の子育てママ同士の交流はない。

○ふれあいの杜公園の現状と課題について

- ・高校生がたむろしているなど、治安が悪いと感じる。
- ・駐車場が狭く、満車になることが多い。駐車場を増やす必要があるのではないか。
- ・天気の良い日は、テントを張って日を遮っている親子もいる。
- ・トイレが人気のあるところから遠く、こわい。子どもだけでは行かせられないため、現在のものとは別に設けてほしい。
- ・道道側の樹木がうっそうとしておりこわい。死角になっている。

(2)各グループの意見

Aグループ

■施設コンセプト

- ・子どもが健全に遊べる場
- ・親同士も交流、情報交換できる場

■どのような施設になるとよいか

○想定される施設の規模や条件について

【対象（幅広い世代の利用）】

- ・子どもだけでなく、地域の方や高齢者を含む色々な世代の方が利用できるが良い。
- ・少子高齢化が進む今後を考えたときに、子どもが減っても柔軟に対応していけるような空間になると良い。
- ・そのため、時間帯や部屋によって利用者層を変えられると良い。
- ・兄弟がいると、同じ空間で遊べる場所があると嬉しい。
- ・公園と併設する施設ということで、樽川エリアだけでなく札幌からも来ることが予想される。居住地などのエリアの限定はしないで良い。

【対象（世代を限定した利用）】

- ・身体の大きさや遊びの内容、学習内容的に、色々な世代の利用を考えるのは難しい。就学前、せめて中学生までの利用に限定して考えた方が良いのではないかと。
- ・0～6歳の就学前の子どもとその親が集う場が良いのではないかと。
- ・中途半端な空間にならないよう、ターゲットは絞った方が良いかもしれない。
- ・中高生及び高齢者の居場所づくりとして良い例は、西区民センターである。
- ・部活が始まる中学生以上の利用は少なくなる。

○あるとよい機能

【児童館】

- ・毎日通える児童館機能は必須である。

【児童クラブ】

- ・児童クラブの幼児を見るスタッフは別であってほしい。

【あそび】

- ・健全に遊べる場が良い。
- ・大人の目があることで、子どもは悪いことはしにくくなるため、こういった施設はありがたい。

【一般の方の利用】

- ・地域の方など広く貸し出せる、貸しスペースがあると良い。何かをつくる場や仕事をすすめる場、会合などの場として利用できる。
- ・サークル活動や文化活動など、若者同士でやりたいことができる場が良い。
- ・物品のレンタルができると良い。
- ・公民館のようなイメージ。

【運動】

- ・ 体育館で遊べると良い。あいぽーとの体育館は、狭くて低学年向けである。

【受付・防犯面】

- ・ 子どもたちがいる空間には受付を設けてほしいが、外には一般の方が利用できる飲食スペースがあっても良い。（「いーてらす」の事例が良かった。）

【親の相談・交流の場】

- ・ 親同士の交流も大切である。初めての場所や知り合いがいない空間には、なかなか来づらいが、イベントなどをきっかけに来られるようにしたい。

【情報発信】

- ・ 情報発信も大切である。知らないところには行きづらいため、施設ができた後には、子育て世代に情報が届くようにしたい。現在の児童館や子育て施設間の子育てママ同士の交流はない。

○ふれあいの杜公園の現状と課題について

- ・ 高校生がたむろしているなど、治安が悪いと感じる。
- ・ 駐車場が狭く、満車になることが多い。駐車場を増やす必要があるのではないか。
- ・ 天気の良い日は、テントを張って日を遮っている親子もいる。
- ・ トイレが人気のあるところから遠く、こわい。子どもだけでは行かせられないため、現在のものとは別に設けてほしい。
- ・ 道道側の樹木がうっそうとしておりこわい。死角になっている。

Bグループ

■施設コンセプト

- ・ 多世代交流（子どもの世代間交流、子どもから高齢者までの地域交流）
- ・ 育児中の方同士の交流、相談の場
- ・ 子どもたちの居場所

■どのような施設になるとよいか

○想定される施設の規模や条件について

- ・ 基本は平屋を想定しているということであるが、機能を盛り込んだらキャパオーバーになるのではないか。
- ・ 2階や3階建ても検討すべきではないか。
- ・ また、駐車場のキャパも心配である。
- ・ 既存のおおぞら児童館が、新たな施設に機能として入る予定である。
- ・ 児童クラブに通う子どもたち以外も、親の就業状況にかかわらず利用できる施設になるとよい。
- ・ 機能は乳幼児や小学生、中高生それぞれが安心して快適に使いやすいよう、配置でしっかりと分ける必要がある。（階で分けられない場合は長岡市の○△□のように）
- ・ または、時間で分けることも考えられるが、小学生と中学生の決められた門限の時間差

が大きくないため、うまく時間で区切ることは難しいかもしれない。

○あるとよい機能

【あそび】

- ・雨の日も冬も子どもたちが体を動かして遊べる場になるとよい。
- ・子どもは外で遊びたがるので、新潟市の事例のように玄関に屋根付きスペースを設けると、外と一体的に遊ぶことができるのではないかと。その場合、冬でも利用できるようにガラスで囲うなどの工夫が必要ではないか。
- ・遊びでは、木のプールは子どものニーズがあるようである。

【運動】

- ・子どもが自由に運動できるとよい。そのため体育館などがあるとよい。
- ・また、親子ヨガなど、マルチに使える多目的室があるとよい。
- ・子どもや保護者だけでなく、地域の誰もが使えるランニングスペースなどがあるとよい。

【本・図書カウンター】

- ・読書コーナーは必要である。
- ・近くに図書館がないため、図書館のカウンターだけでも設置してほしい。事前に借りたい本を予約して、カウンターで受取ることでできる仕組みができないか。

【地域の交流】

- ・地域住民との交流の場になるとよい。顔見知りになることで、日常の子どもの見守りにもつながる。
- ・地域の方や高齢者などがボランティアしてもらう仕組みができるとよい。地域住民の役割や活躍の場があるとよい。
- ・子どもや保護者が他人から学んだり、時には怒られたりする機会も必要である。

【子どもの自主性】

- ・子どもがイベントを企画できる機会や場が必要である。
- ・子どもの施設に対する意見を吸い上げて実現していくことができるとよい。

【親の相談の場】

- ・親が育児の相談などできる場となるとよい。
- ・親同士の交流により、親も成長することができる。

【乳幼児のあそび】

- ・まだ歩けない乳児も、広々とした空間で安全に自由に這いずり回る場があるとよい。家の中だけでなく、そういった広々とした空間で親子で過ごす、親も俯瞰して子どものことを見ることができる。

【身体測定】

- ・乳幼児の身長や体重を測定できるとよい。そういった設備があることで、外に出るきっかけにもなる。
- ・また、大きな子どもも身長を計ることができるとうよい。
- ・函館にある子ども向け施設では、デジタルモニターの前に立つと自動で身長を計測・表示してくれるシステムがある。

【飲食・キッチン】

- ・自由に飲食できるスペースは必要である。
- ・キッチンもあるとよい。時間貸ししてママさんたちのサークルや集まりでも使うことができるとうい。
- ・子どもたちで料理を作るなどの食育にも活用できそうである。
- ・子ども食堂など、孤食防止にもつながるとよい。

【防犯面】

- ・受付名簿はプライバシーの配慮が必要である。
- ・登録制にして、カードをタッチして入退場できる仕組みを導入しているところもある。

－ 第2回コンセプト検討会 －

第2回 (仮称) ふれあいの杜子ども館 コンセプト検討会 開催結果

1. 開催概要

日 時：2019年5月16日（木） 18：30～20：30

場 所：樽川南第一会館（石狩市樽川8条2丁目）

参加者：公募市民 11名（1名欠席）

事務局 石狩市子ども政策課 2名、建築住宅課 2名、(株)KITABA 3名

テーマ：施設の機能と課題について

内 容：

○情報提供

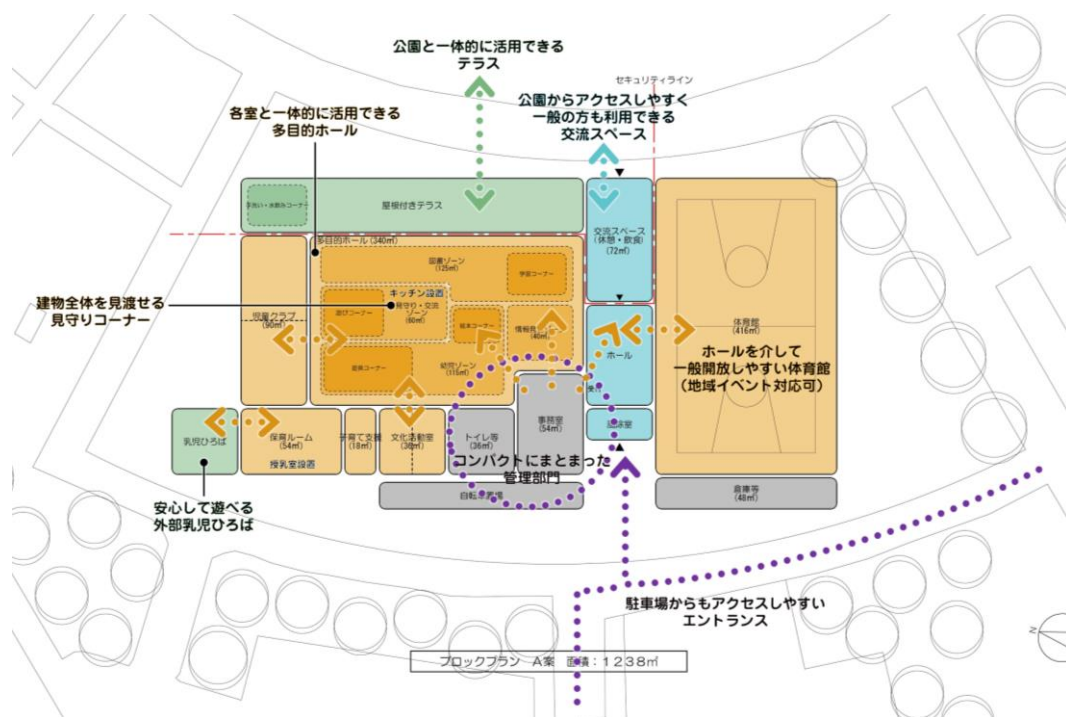
- ・施設の規模や方向性、配置などについて

○意見交換



2. 意見交換の結果

5～6名のグループに分かれ、コンセプト及びブロックプラン（案）を見ながら、具体的な機能や施設の課題について意見交換を行った。以下に、全体のまとめ及び各グループの意見について整理する。



提示したブロックプラン（案）

(1) 全体まとめ

■施設の基本的条件など

○建築の規模、階数

- ・狭いのではないかと。2階建てが無理でも、ロフトの設置などができると良い。また、取捨選択することが大切である。
- ・小学生と中高生が遊ぶ時間がずれるため、現状の広さで問題ないのではないかと。
- ・想定利用者数によって施設規模が変わってくる。
- ・樽川エリアは川の氾濫の危険性が高いため、2階建てが良いのではないかと。

○バリアフリー

- ・バリアフリーは必須である。

○開館日

- ・一般の方の利用が多い日曜・祝日は休館としても良いのではないかと。
- ・親としては、土日に施設が使えると子どもが遊べてうれしい。

○中高生の居場所づくり

- ・中高生が部活後や放課後に立ち寄れる場所、ごはんを食べたり、ゲームをしたりする空間があると良い。

○多世代の子どもが利用する際のスペースまたは時間分け

- ・小学生と乳幼児の遊ぶスペースは、別にすべきである。ただ、スペースを区切ってしまうと、交流がなくなりもったいない。
- ・多目的室は、日中は乳幼児と保護者が、夕方は小中高生が利用することになると思う。遊具を可動式ワゴンに収納するなど、スペースを流動的に利用できると良い。休日に多世代の子どもたちが安全に遊ぶことが課題である。

○靴の脱ぎ履き

- ・体育館は靴を履いた方が良い。外靴でなく、上靴が良いのではないかな。
- ・靴を脱ぐエリア、脱がないエリアを決めると靴がバラバラになる。
- ・ホールからは土足厳禁としてはどうか。

○防災機能、緊急時対策

- ・一時避難場所にする 것도検討してはどうか。避難所にはならなくても、地域の備蓄品の保管や防災訓練等の実施、非常用電源の設置などができると良い。
- ・救急車などの緊急車両が入れる動線が必要である。

○周辺施設を含めた除雪

- ・冬は施設周辺の除雪などの課題もある。

■各スペースの仕様や機能、課題などについて

【多目的ホール】

- ・多目的ホールはもっと広げたい。
- ・フリースペースを広く設け、中央に図書・見守りスペース（あいぽーとの円形の本棚など）を設けてはどうか。
- ・各ゾーンは壁でなく、柵など圧迫感のない見渡せる仕切りにしたい。

【多目的ホール/図書ゾーン】

- ・絵本に加え、中高生向けにタブレットを設置してはどうか（省スペース化）。
- ・学習コーナーは個室を設ける必要はない。テラス側にカウンターを設けてはどうか。
- ・中高生の自習スペースの要望は多いと思うが、多目的ホール内の学習スペースではうるさく感じるのではないかな。

【多目的ホール/幼児ゾーン・遊具コーナー】

- ・大型遊具の安全性が心配である。

【保育ルーム・子育て支援】

- ・保育ルームと子育て支援は一つの部屋にして、空間を仕切れるようにすると良い。
- ・相談室は、乳幼児を見ながら相談できるよう、それなりの広さが欲しい。
- ・相談室を設けるより、経験者などとの身近な関わりをつくった方が良いのではないかな。

【児童クラブ】

- ・児童クラブと体育館は近い方が良い。
- ・児童クラブの子どもたちは、受付せずに直接部屋に入ることになると思う。

【体育館】

- ・体育館は狭い気がする。想定利用者数によって必要な広さが変わってくる。
- ・中高生のために、バスケットゴール、その他設備を用意したい。

- ・体育館の上ではランニングできるようにしてほしい。

【文化活動室】

- ・文化活動室の空いている時間帯は学習スペースとしてはどうか。
- ・文化活動室を貸室として地域に提供いただけると利用しやすい。

【交流スペース】

- ・交流スペースはなくても良いのではないかと。代わりに学習スペースにしてはどうか。
- ・交流スペースを登録した人のみの利用にしてはどうか。
- ・交流スペースを北側に配置してはどうか。その場合、スタッフの配置が必要である。
- ・交流スペースでは、テナント、もしくは地域の方により、飲食を提供してはどうか。
- ・テーブルとイスを設置するのみにして、飲食は持ち込みで良いのではないかと。
- ・交流スペースからの施設入口にはオートロックを設け、自由に出入りできないようにすると良い。その場合、インターフォンの対応が課題である。
- ・体育館側の壁をガラス張りにして、イベント等の様子が見えると良い。反対側は、安全性の問題から情報版などで空間を仕切って半分見えるようにしたい。
- ・自動販売機はほしい。
- ・ゴミの管理の問題がある。

【ホール】

- ・ホールには靴箱やバギー置場、貴重品ロッカーが必要である。

【受付・事務所】

- ・体育館入口と受付が遠いため、受付を体育館に近づけた方が良い。
- ・受付と事務所は、ホール空間の中心にガラス張り円柱状の空間を設置してはどうか。防犯的にもデザイン的にも良いのではないかと。

【公民館機能（交流）】

- ・公民館機能を付けたい（樽川の公民館の老朽化）。
- ・町内会でも公園を活用した行事などを積極的に行え、にぎわいづくりにも寄与できそうである。

【屋根付きテラス】

- ・テラスでは、夏に町内会での BBQ や夏祭り、出店の設置などができると良い。
- ・雪が降る季節になると使えなくなるのではないかと。
- ・ガラス戸をつけて、夏は開放し、冬は戸を閉めることができると良い。冬は施設の保温効果が高まる。

【自転車置場】

- ・公園側からも自転車を止められると良い。テラス近く、体育館近くにも設置できないか。

【トイレ】

- ・トイレは、誰でも使えるようにしたい。施設の外側やホールなどが良い。
- ・多目的トイレのスペースも必要である。
- ・トイレを設置した場合、清掃、管理の問題がある。また、においも課題である。

【本の貸出しカウンター】

- ・一般の方も利用できる本の貸出しカウンターを設けたい。事務室に窓口を設け、中に入

らずともカウンターで返却ができるようにしてはどうか。

【その他】

- ・ロフトを設け、登り棒、ボルダリングや壁一面お絵描き出来るようにするなど、子どもの遊び心をくすぐる仕掛けや遊具があると良い。(例：銭函のログハウスメーカー)

(2)各グループの意見

Aグループ

■施設の基本的条件など

○建築の規模、階数

- ・平屋では狭いのではないか。樽川の端の方からも札幌からも来る人はいると思うため、広い空間が必要だと思う。
- ・小学生と中高生が遊ぶ時間がずれるため、現状の広さで問題ないのではないか。
- ・限られた予算、スペースの中で考えると、優先順位を考え、削るスペースがないと、どれも中途半端になってしまうのではないか。

○開館日

- ・日曜・祝日は休館としても良いのではないか。土日は特に、一般の方の利用が多いと考えられるため、子どものための施設と考ええると、休みとしても良いのではないか。
- ・土日に施設が使い、イベントなどがあると、親としては子どもが遊べてうれしい。

○靴の脱ぎ履き

- ・体育館は靴を履いた方が良い。外靴でなく、上靴が良いのではないか。上靴を持参しないと利用できなくなるが、あいぽーとや他の児童館などは、上靴を持参している。
- ・靴を脱ぐエリア、脱がないエリアを決めると靴がバラバラになる。

■各スペース・機能について

【多目的ホール】

- ・多目的ホールはもっと広げたい。
- ・フリースペースを広く設けるだけで良いのではないか。
- ・中央に図書・見守りスペースを設けてはどうか。
- ・各ゾーンは壁での仕切りでなく、柵など圧迫感のない見渡せる仕切りにしたい。

【多目的ホール/図書ゾーン】

- ・あいぽーとの図書コーナーは画期的である。参考にしたい。

【多目的ホール/幼児ゾーン・遊具コーナー】

- ・大型遊具の安全性が心配である。
- ・小学生がたくさんいて遊ぶスペースは、小さい子は危険そうである。
- ・ただ、スペースを区切ってしまうと、交流がなくなりもったいない。

【子育て支援】

- ・ここで相談する気にはなれないのではないか。
- ・パーテーションの仕切りでは、相談はできない。
- ・設けるのであれば、子どもを見ながら、一対一でゆったりとした空間の中で相談できるよう、それなりの広さが欲しい。
- ・おばあちゃんなどの経験者が身近にいることで相談できるため、相談室を設けるより、そういった身近な関わりをつくった方が良いのではないか。

【児童クラブ】

- ・児童クラブと体育館は近い方が良い。入口にも近いホールの東側に配置してはどうか。

【体育館】

- ・体育館が広くなるのは良い。

【中高生の居場所】

- ・中高生が部活後や放課後に立ち寄れる場所があると良いのではないかと。ごはんを食べたり、ゲームをしたりする空間があると良い。
- ・中高生としては、体育館があり、バスケットゴール、その他体育館で遊べる設備があると良いのではないかと。
- ・勉強できるスペースを求めている中高生は多いと思うが、多目的ホールの中の学習スペースだとさくさく感じるのではないかと。
- ・文化活動室の空いている時間帯は学習スペースとしてはどうか。
- ・交流スペースをなくして学習スペースにしてはどうか。

【交流スペース】

- ・交流スペースはなくても良いのではないかと。
- ・地域の高齢の方が散歩途中に一休みする、公園に来た親子、ママさん方が寒いときに中に入る、暑いときに日除けとして入ってごはんを食べるなどの利用が考えられる。
- ・札幌などからも多くの方が来ることが予想されるため、地元の方が利用しづらくなるのではないかと。
- ・交流スペースをセキュリティラインの内側に設け、登録した人のみの利用にしてはどうか。
- ・交流スペースを北側に配置してはどうか。その場合、セキュリティラインとの境界にはスタッフを配置しなければならない。
- ・交流スペースでは、カフェなどテナントに入ってもらい、もしくは地域の方でカフェを開くなど、飲食を提供してはどうか。
- ・テーブルとイスを設置するのみにして、飲食は持ち込みで良いのではないかと。
- ・自動販売機はほしい。
- ・ゴミの管理の問題がある。
- ・施設利用者は、持ち帰りをしようと思うが、公園に来た方は、ゴミを捨てると考えられる。
- ・提供しているもののゴミは捨てられる、という制限にしてはどうか。

【屋根付きテラス】

- ・雪が降る季節になると使えなくなるのではないかと。

【自転車置場】

- ・テラス側に自転車を置く人もいると思うため、そちらにも駐輪場が必要になるのではないかと。

【トイレ】

- ・トイレは、施設の外側に欲しい。
- ・トイレを設置した場合、清掃、管理の問題がある。また、飲食スペースの近くにトイレがあると、においが気になることも予測できる。

【図書の貸出しカウンター】

- ・一般の方も利用できるよう、交流スペースに本の貸出しカウンターを設けたい。

- ・休日に返却できるようにしたい。
- ・事務室に窓口を設け、中に入らずともカウンターで返却ができるようにしてはどうか。

【防災機能】

- ・災害時、樽川中だけでなく、当施設を一時避難場所にすることも検討してはどうか。
- ・樽川エリアは川の氾濫の危険性が高いため、2階建てが良いのではないか。

B グループ

■施設の基本的条件など

○建築の規模、階数

- ・建材などのコストを下げて、もう少し広い施設ができないか。2階建てが無理でも、ロフトの設置などができると良い。

○バリアフリー

- ・バリアフリーは必須である。

○多世代の子どもが利用する際のスペースまたは時間分け

- ・多目的室は平日の場合、日中は乳幼児と保護者がゆったりと過ごし、夕方は小中高生が利用するため、幼児コーナーの遊具は可動式のワゴンなどに収納して、スペースを流動的に利用できると良い（ワゴンは物品庫や床下に収納できると良い）。
- ・休日の場合は、小中学生と乳幼児が多目的ホールに混在することが想定されるため、多世代の子どもたちが安全に使えるか心配である。

○靴の脱ぎ履き

- ・ホールからは土足厳禁として、体育館は上履き利用が良い。

○防災機能、緊急時対策

- ・災害時にも活用できる施設にしたい。避難所にはならなくても、地域の備蓄品の保管や防災訓練等の実施、非常用電源の設置などができると良い。
- ・救急車などの緊急車両が入れる動線が必要である。

○周辺施設を含めた除雪

- ・冬は施設周辺の除雪などの課題もある。

■各スペース・機能について

【屋根付きテラス】

- ・ガラス戸をつけて、夏は開放し、冬は戸を閉めることができると良い。そうすることで、冬は施設の中も保温効果があがるため暖房費の節約にもなる。
- ・テラスでは、夏に町内会でのBBQや夏祭り、出店の設置などができると良い。

【交流スペース・ホール・事務室】

- ・交流スペースから施設に入る場合、オートロックで自由に出入りできないようにすると良い。
- ・しかし、そうすると職員が都度インターフォンの対応をするのは大変である。
- ・体育館への動線は、受付が見逃しやすいためもっと受付が体育館にも近い方が良い。原案の場合は、受付に常に人が張り付いていなければいけない。

- ・受付と事務所は、ホール空間の中心に円柱型のガラス張りで設置すると、360 度見渡せて防犯上も安心できるのではないかと。デザイン的にも思い切っている感じがして良いと思う。
- ・交流スペースから施設内が見えるよう、体育館の方はガラス張りにして、体育館でのイベント時に外からも観覧できると良い。反対側は、全部見えると保護者や子どもの付きまといなどの発生が懸念されるため、情報版などで空間を仕切って、半分見えるくらいが良い。
- ・ホールには靴箱やバギー置場、貴重品ロッカーが必要である。

【トイレ】

- ・多目的トイレのスペースも必要である。
- ・トイレはホールなど誰もが使いやすい場所にあると良い。

【体育館】

- ・体育館は狭い気がするが、どのくらいの利用人数を想定しているかによって必要な広さが変わってくる。そこを示してもらわなければ、狭いも広いも意見が言えない。
- ・体育館の上は、周りでランニングできるようにしてほしい。

【児童クラブ】

- ・児童クラブの子どもが多目的ホールの奥に部屋があるのは使いづらいのではないかと。体育館の近くに部屋があると良い。
- ・児童クラブの子どもたちは、受付せずに直接部屋に入ることになると思う。

【保育ルーム・子育て支援】

- ・保育ルームと子育て支援は部屋を分けず、一つの部屋にして空間を仕切れるようにすると良い。

【図書ゾーン】

- ・絵本はたくさんあると良いが、中高生向けの図書は iPad などタブレットの設置で省スペース化すべきである。
- ・学習コーナーは、テラスの方に向けてカウンターテーブルが並んでいると、勉強しやすいのではないかと。個室を設ける必要はないと思う。

【公民館機能（交流）】

- ・樽川の公民館は老朽化していて危険であるため、機能をこちらの新施設に移転できないか。
- ・交流スペースの利用はもちろん、文化活動室を貸室として提供いただけると利用しやすい。
- ・また、そうした利用ができると、町内会としても公園を活用した行事などを積極的に行うことになりそうであるため、にぎわいづくりにも寄与できると考えられる。

【自転車置場】

- ・公園側からも自転車を止めやすいように、体育館に沿って自転車置場を設置できないか。

【その他】

- ・ロフトをつけてもらえると、そこから登り棒などを設置してはどうか。またはボルダリングや壁一面お絵描き出来るようにするなど、子どもの遊び心をくすぐる仕掛けや遊具

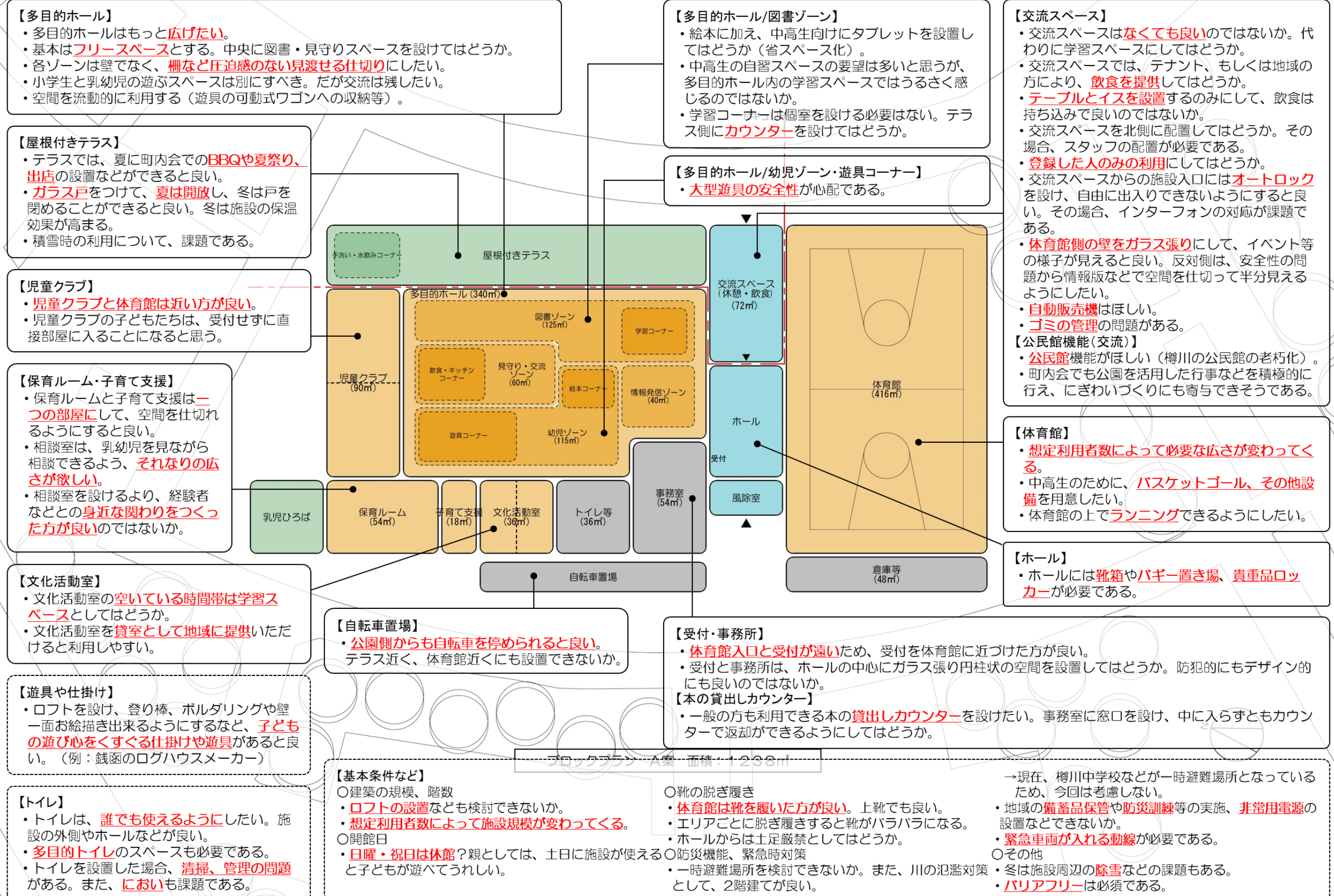
があると良い。

- ・ 銭函のログハウスメーカーでは、室内で子どもの遊び心をくすぐる仕掛けがたくさんあるため、参考になるのではないかと。

■次回ワークショップについて

- ・ 次回のワークショップでは、各部屋をパズルのようにばらばらにして、グループ内で組み合わせて配置を考えることができると良いのではないかと。
- ・ 想定の利用人数を示したうえで、各部屋の面積について検討してもらうようにする。

第2回検討会 意見まとめ ～施設の機能と課題について～



－ 第3回コンセプト検討会 －

第3回 (仮称) ふれあいの杜子ども館 コンセプト検討会 開催結果

1. 開催概要

日 時：2019年6月28日(金) 18:30～20:30

場 所：樽川南第一会館(石狩市樽川8条2丁目)

参加者：公募市民 8名(4名欠席)

事務局 石狩市子ども政策課 3名、石狩市建築住宅課 3名、株KITABA 4名

テーマ：施設レイアウトとプログラムについて

内 容：

○情報提供

- ・施設の前提条件の整理、施設レイアウト(案)と使い方イメージについて

○意見交換

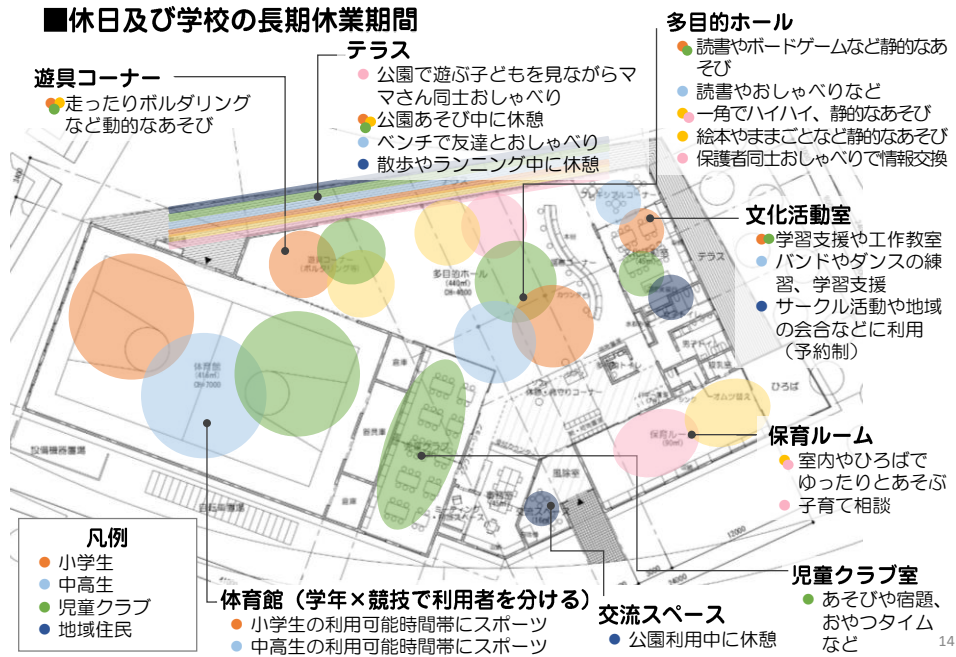


2. 意見交換の結果

4名ずつのグループに分かれ、施設レイアウト（案）の模型などを見ながら、時間帯ごとの利用イメージやプログラムについて考え、そのために必要な設備や望ましいレイアウトについて検討した。また、交流スペースの考え方（公園の一般利用者の交流及び地域住民同士の交流など）について意見交換を行った。

以下に、全体のまとめ及び各グループの意見について整理する。

時間帯ごとの利用イメージとプログラム（案）



提示したコンセプト（案）と使い方イメージ



提示した模型

(1)全体まとめ

■レイアウトについて

○体育館

- ・倉庫などはガーデン側に配置した方が良い。
- ・イベント時には、一般の方もトイレや手洗い場を利用すると思うため、体育館の中にトイレ、手洗い場を設けた方が良い。

○事務所・受付

- ・体育館にスタッフがいない場合、死角になってしまうため、事務所から体育館の様子が見えた方が良い。
- ・事務所の配置を体育館の隣（現在の学童クラブ位置）にして、窓などを設けた方が良いのではないかな。
- ・受付は、交流スペース側の窓口で行った方が良いのではないかな。施設に入ってから受付では、不審者が入ってきた場合に止めにくい。
- ・施設の入口は登録した方のみが通れるよう、オートロックや回転アーム式ゲートなどを設けた方が良いのではないかな。

○おむつ替えスペース

- ・オムツ替えスペースは、多目的ホールからでも入れるよう、入口を設けてはどうか。
- ・おむつ替えスペースは、2台で足りるか心配である。天気によって室内にたくさんの親子が入ってくると、混んでしまうのではないかな。
- ・多目的トイレに、オムツ替えの折り畳み式の台を設置してはどうか。

○トイレ

- ・多目的トイレの入り口は、施設入口から近い保育ルーム側に設けた方が良いのではないかな。その際、外からの視線に配慮した配置とする。
- ・外から来る方がトイレを利用する場合、もう少し入口に近い方がよいかもしれない。
- ・多目的トイレだけでも、近くの方がよいのではないかな。

○文化活動室

- ・フレキシブルコーナーが、死角になるのではないかな。

○学習コーナー

- ・中高生のための学習コーナーは必要ではないかな。多目的ルームにカウンターを設けた方が良い。ついたてを設けて一人ひとりのブースをつくと良い。

○交流スペース

- ・地域の方だけでなく、中高生のためのたまり場になるのではないかな。
- ・他に中高生が溜まれる場があまりないため、交流スペースはあった方がよいのではないかな。
- ・入り口近くの交流スペースは不要ではないかな。その分、玄関を広々とさせたい。

○テラス

- ・地域の高齢の方は、朝早くに公園を散歩し、テラスでゆっくりと休憩することが考えられる。
- ・公園利用者が交流できるよう、テラスにベンチを設置するとよい。

- ・テラスが冬場は使えなくなるのがもったいないため、仮設の可動式壁を建設後取り付けたいが、公共施設としては難しい。
- ・ただし、テラスは西日除けにちょうど良い場所なので、時間帯によって混雑することが考えられる。

○その他

- ・バリアフリーの視点も必要である。

■プログラムや運営方法について

○体育館

- ・体育館は小中高生の利用時間が重ならないように、学年で区切って使える時間を分けることも考えられる。
- ・しかし、常に時間を区切ってしまうのではなく、基本的にはフリーで使えるようにして、その日の子どもの顔ぶれを見て、区切るかどうか判断した方がよい。
- ・大人が事務的に時間を区切って利用制限するのではなく、異年齢の子ども同士での譲り合いや思いやり、状況を見て遊び方を判断してもらうことも必要である。
- ・あいぼ一とでも、基本的に予め時間で利用できる学年を区切ることはしていない。

○動的なあそびのスペース

- ・遊具コーナーは、平日は時間帯によって利用する子どもの年齢も異なるため心配はないが、休日や長期休業期間などは異年齢の子どもたちが走り回って、スペースが足りず危険になることも考えられる。
- ・しかし、年齢で時間ごとに利用制限するのではなく、子ども同士で譲り合ったり、考えて遊ぶなど、異年齢で同じ空間を共有することによる育ちあいの視点が大切である。
- ・そのため、子どもの状況に応じて文化活動室が動的な遊びに対応できる空間になるとよい。

○地域住民の貸し室利用（文化活動室の利用方法について）

- ・使用は予約制とし、1週間前までに予約を入れることとする。
- ・予約がない場合は、開放して誰でも使えるスペースとして良いのではないか。
- ・多目的ルームなどは飲食禁止とし、文化活動室を12時～13時など時間を決めて飲食可能なスペースとして開放してはどうか。
- ・地域の人や団体の会議等で文化活動室を貸し室利用することはよいが、まずは子どもの利用を優先するというルールは徹底すべきである。
- ・また、同じ団体が毎日のように利用して施設を独占しないためにも、1か月に利用できる頻度を定めるなどのルール作りも必要である。
- ・貸しスペースとして利用料を徴収する場合、使いやすい料金設定が求められる。そうでなければ、結局スペースが活用されなくなってしまふ。

○地域住民との交流

- ・貸し室利用以外にも、地域住民が施設利用者と交流できる機会があるとよい。
- ・例えば、地域の高齢者のスキルを活かしたボランティアとして、手芸教室などのプログラムがあるとよい。

- ・また、プログラムは、住民と子どもの交流だけでなく、若いママさんに高齢者が知恵を伝えるようなきっかけにもなるとよい。
- ・そのようなプログラムにより、地域での顔見知りの関係につながり、施設外でも日常の子どもや高齢者の見守りにもつながることが期待される。

○イベント時の利用

- ・文化活動室は開放せず、体育館だけイベント時に開放してはどうか。
- ・お祭りの露店など、何かを販売することは禁止としてほしい。施設を利用して商売されない方がよい。
- ・イベントは、地域の人や施設利用のサークルが日頃の成果を発表できる場などの催しが行われるとよい。
- ・地域のあらゆるイベントの会場になってはセキュリティ面も心配であるため、どのようなイベントなら開催可能か、条件を絞るとよい。

○保育ルームの施錠

- ・イベント時など、保育ルームとして使用しないときは施錠した方がよい。

○開館日について

- ・児童クラブは月曜～土曜まで開設しているため、施設全体も開館日とするべきである。
(児童クラブに所属していない子どもがうらやましがらるため、児童クラブだけ開けて多目的ルームなどは閉鎖とはしない。)
- ・公園が多くの人でにぎわいそうな日曜日は閉館としても良いのではないかな。

○ごみの管理について

- ・ごみは原則持ち帰りとしたい。施設内にごみ箱を設置しないようにしてはどうか。
- ・トイレにはオムツ用のごみ袋を置いても良いのではないかな。(その袋にごみが入れられないような工夫は必要である。)

○その他

- ・非常口は誰でも開けられるようにすると、何もないうちに子どものいたずらで開放されることなどが想定されるため、職員だけが開けられるようにすべきである。
- ・車いすの方は土足禁止のスペースまでどのように入るのか、動線や利用方法を検討する必要がある。
- ・スタッフの配置について、セキュリティの面から受付にはスタッフが常時一人はいるようにした方がよい。

(2)各グループの意見

Aグループ

■レイアウトについて

○体育館

- ・倉庫などはガーデン側に配置した方が良い。
- ・イベント時には、一般の方もトイレや手洗い場を利用すると思うため、体育館の中にトイレ、手洗い場を設けた方が良い。

○事務所・受付

- ・体育館にスタッフがいない場合、死角になってしまうため、事務所から体育館の様子が見えた方が良い。
- ・事務所の配置を体育館の隣（現在の学童クラブ位置）にして、窓などを設けた方が良いのではないか。
- ・受付は、交流スペース側の窓口で行った方が良いのではないか。施設に入ってから受付では、不審者が入ってきた場合に止めにくい。
- ・施設の入口は登録した方のみが通れるよう、オートロックや回転アーム式ゲートなどを設けた方が良いのではないか。

○おむつ替えスペース

- ・オムツ替えスペースは、多目的ホールからでも入れるよう、入口を設けてはどうか。

○トイレ

- ・多目的トイレに、オムツ替えの折り畳み式の台を設置してはどうか。
- ・多目的トイレの入り口は、施設入口から近い保育ルーム側に設けた方が良いのではないか。その際、外からの視線に配慮した配置とする。

○文化活動室

- ・フレキシブルコーナーが、死角になるのではないか。

○学習コーナー

- ・中高生のための学習コーナーは必要ではないか。多目的ルームにカウンターを設けた方が良い。ついたてを設けて一人ひとりのブースをつくと良い。

○交流スペース

- ・地域の方だけでなく、中高生のためのたまり場になるのではないか。
- ・他に中高生が溜まれる場があまりないため、交流スペースはあった方がよいのではないか。

○テラス

- ・地域の高齢の方は、朝早くに公園を散歩し、テラスでゆっくりと休憩することが考えられる。
- ・テラスが冬場は使えなくなるのがもったいないため、仮設の可動式壁を建設後取り付けたいが、公共施設としては難しい。

○その他

- ・車いす利用者の場合、中靴エリアに入る際はタイヤを拭く必要がある。

■プログラムや運営方法について

○地域住民の貸し室利用（文化活動室の利用方法について）

- ・使用は予約制とし、1週間前までに予約を入れることとする。
- ・予約がない場合は、開放して誰でも使えるスペースとして良いのではないか。
- ・多目的ルームなどは飲食禁止とし、文化活動室を12時～13時など時間を決めて飲食可能なスペースとして開放してはどうか。

○保育ルームの施錠

- ・イベント時など、保育ルームとして使用しないときは施錠した方が良い。

○開館日について

- ・児童クラブは月曜～土曜まで開設しているため、施設全体も開館日とするべきである。
（児童クラブに所属していない子どもがうらやましがらるため、児童クラブだけ開けて多目的ルームなどは閉鎖とはしない。）
- ・公園が多くの人でにぎわいそうな日曜日は閉館としても良いのではないか。

○ごみの管理について

- ・ごみは原則持ち帰りとしたい。施設内にごみ箱を設置しないようにしてはどうか。
- ・トイレにはオムツ用のごみ袋を置いて良いのではないか。（その袋にごみが入れられないような工夫は必要である。）

○その他

- ・スタッフの配置について、セキュリティの面から受付にはスタッフが常時一人はいるようにした方が良い。

Bグループ

■レイアウトについて

○おむつ替えスペース

- ・おむつ替えスペースは、2台で足りるか心配である。
- ・通常は2台でよいと思うが、天気によって室内にたくさんの親子が入ってくると、混んでしまうのではないか。

○トイレ

- ・外から来る方がトイレを利用する場合、もう少し入口に近い方がよいかもしれない。
- ・多目的トイレだけでも、近くの方がよいのではないか。

○交流スペース

- ・入り口近くの交流スペースは不要ではないか。その分、玄関を広々とさせたい。
- ・公園利用者が交流できるよう、テラスにベンチを設置するとよい。
- ・ただし、テラスは西日除けにちょうど良い場所なので、時間帯によって混雑することが考えられる。

○その他

- ・バリアフリーの視点も必要である。

■プログラムや運営方法について

○体育館

- ・体育館は小中高生の利用時間が重ならないように、学年で区切って使える時間を分けることも考えられる。
- ・しかし、常に時間を区切ってしまうのではなく、基本的にはフリーで使えるようにして、その日の子どもの顔ぶれを見て、区切るかどうか判断した方がよい。
- ・大人が事務的に時間を区切って利用制限するのではなく、異年齢の子ども同士での譲り合いや思いやり、状況を見て遊び方を判断してもらうことも必要である。
- ・あいぼ一とでも、基本的に予め時間で利用できる学年を区切ることはしていない。

○動的なあそびのスペース

- ・遊具コーナーは、平日は時間帯によって利用する子どもの年齢も異なるため心配はないが、休日や長期休業期間などは異年齢の子どもたちが走り回って、スペースが足りず危険になることも考えられる。
- ・しかし、年齢で時間ごとに利用制限するのではなく、子ども同士で譲り合ったり、考えて遊ぶなど、異年齢で同じ空間を共有することによる育ちあいの視点が大切である。
- ・そのため、子どもの状況に応じて文化活動室が動的な遊びに対応できる空間になるとよい。

○地域住民の貸し室利用

- ・地域の人や団体の会議等で文化活動室を貸し室利用することはよいが、まずは子どもの利用を優先するというルールは徹底すべきである。
- ・また、同じ団体が毎日のように利用して施設を独占しないためにも、1か月に利用できる頻度を定めるなどのルール作りも必要である。
- ・貸しスペースとして利用料を徴収する場合、使いやすい料金設定が求められる。そうでなければ、結局スペースが活用されなくなってしまふ。

○地域住民との交流

- ・貸し室利用以外にも、地域住民が施設利用者と交流できる機会があるとよい。
- ・例えば、地域の高齢者のスキルを活かしたボランティアとして、手芸教室などのプログラムがあるとよい。
- ・また、プログラムは、住民と子どもの交流だけでなく、若いママさんに高齢者が知恵を伝えるようなきっかけにもなるとよい。
- ・そのようなプログラムにより、地域での顔見知りの関係につながり、施設外でも日常の子どもや高齢者の見守りにもつながることが期待される。

○イベント時の利用

- ・文化活動室は開放せず、体育館だけイベント時に開放してはどうか。
- ・お祭りの露店など、何かを販売することは禁止としてほしい。施設を利用して商売されない方がよい。
- ・イベントは、地域の人や施設利用のサークルが日頃の成果を発表できる場などの催しが行われるとよい。
- ・地域のあらゆるイベントの会場になってはセキュリティ面も心配であるため、どのようなイベントなら開催可能か、条件を絞るとよい。

○その他

- ・非常口は誰でも開けられるようにすると、何もないときに子どものいたずらで開放されることなどが想定されるため、職員だけが開けられるようにすべきである。
- ・車いすの方は土足禁止のスペースまでどのように入るのか、動線や利用方法を検討する必要がある。

第3回検討会 意見まとめ ～施設レイアウトとプログラムについて～

【テラス】

- 地域の高齢の方は、朝早くに公園を散歩し、テラスでゆっくりと休憩することが考えられる。
- 公園利用者が交流できるよう、テラスにベンチを設置するとよい。
- テラスが冬場は使えなくなるのもったいないため、仮設の可動式壁を建設後取り付けたいが、公共施設としては難しい。
- **テラスは西日除けにちょうど良い**場所なので、時間帯によって混雑することが考えられる。

【学習コーナー】

- 中高生のための学習コーナーは必要ではないか。多目的ルームに**カウンター**を設けた方がよい。
- **ついたて**を設けて一人ひとりのブースをつくとよい。

【文化活動室】

- **フレキシブルコーナーが死角**になるのではないかな。

【トイレ】

- 外から来る方がトイレを利用する場合、もう少し**入口に近い方がよい**かもしれない。
- 多目的トイレだけでも、近くの方がよいのではないかな。
- **多目的トイレの入り口は**、施設入口から近い**保育ルーム側**に設けた方がよいのではないかな。その際、外からの視線に配慮した配置とする。

【おむつ替えスペース】

- オムツ替えスペースは、**多目的ホールからも入れるよう**、入口を設けてはどうか。
- おむつ替えスペースは、**2台で足りるか**心配である。天気によって室内にたくさんの親子が入ってくると、混んでしまうのではないかな。
- 多目的**トイレに**、**オムツ替えの折り畳み式の台**を設置してはどうか。

【交流スペース】

- 地域の方だけでなく、**中高生のためのたまり場**になるのではないかな。他に中高生がたまる場があまりないため、交流スペースはあった方がよいかもしれない。
- **交流スペースは小さいので不要**ではないかな。その分、玄関を広々とさせたい。

【事務所・受付】

- 体育館にスタッフがいない場合、死角になってしまうため、**事務所から体育館の様子が見える**方がよい。
- 事務所の配置を**体育館の隣**（現在の学童クラブ位置）にして、**窓などを設けた**方がよいのではないかな。
- **受付は、交流スペース側の窓口**で行った方がよいのではないかな。施設に入ってから受付では、不審者が入ってきた場合に止めにくい。
- 施設の入口は登録した方のみが通れるよう、オートロックや回転アーム式ゲートなどを設けた方がよいのではないかな。

【その他】

- **バリアフリー**の視点も必要である。

【体育館】

- **倉庫などはガーデン側**に配置した方がよい。
- イベント時には、一般の方もトイレや手洗い場を利用すると思うため、**体育館の中にトイレ、手洗い場**を設けた方がよい。

<p>スペースごとの子どもの利用方法、ルールについて</p> <p>【体育館の利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 小中高生の利用時間が重ならないように、学年で区切って使える時間を分けることも考えられる。 • 常に時間で区切るのではなく、基本的にはフリーで、その日の子どもの顔ぶれを見て、区切るかどうか判断した方がよい。 • 大人が事務的に時間を区切って利用制限するのではなく、異年齢の子ども同士での譲り合いや思いやり、状況を見て遊び方を判断してもらうことも必要である。 	<p>プログラムや施設運営方法について</p> <p>【地域住民の貸し室利用（文化活動室）】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1週間前までに予約を入れ、予約がない場合は開放して誰でも使えるようにしたい。 • 施設内は飲食禁止とし、文化活動室を12時～13時など時間を決めて飲食可能としてはどうか。 • 地域へ文化活動室を貸し出すことはよいが、まずは子どもの利用を優先するというルールは徹底すべきである。 • また、同じ団体が毎日のように利用して施設を独占しないためにも、1か月に利用できる頻度を定めるなどのルールも必要である。 • 貸し室の利用料を徴収する場合、使いやすい料金設定が求められる。そうでなければ結局スペースが活用されなくなってしまう。 	<p>【イベント時の利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> • イベント時の開放は体育館だけにしてはどうか。 • 露店など何かを販売するなど、施設を利用して商売されない方がよい。 • 施設利用のサークルが日頃の成果を発表できる場などの催しが行われるとよい。 • セキュリティ面も心配であるため、どのようなイベントなら開催可能か、条件を絞るとよい。 	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 保育ルームとして使用しないときは施錠した方がよい。 • 非常口はセキュリティの関係上、職員だけが開けられるようにすべき。 • 車いすの方は土足禁止のスペースまでどのように入るのか、動線や利用方法を検討する必要がある。 • スタッフの配置について、セキュリティの面から受付にはスタッフが常時一人はいるようにした方がよい。
<p>【動的なあそび】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 遊具コーナーは、休日などは異年齢の子どもたちが走り回って、スペースが足りず危険になることも考えられる。 • 時間ごとに利用制限するのではなく、子ども同士で譲り合ったり、考えて遊ぶなど、異年齢で同じ空間を共有することによる育ち合いの視点が大切である。 • 子どもの状況に応じて文化活動室が動的な遊びに対応できるとよい。 	<p>【地域住民との交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域住民が施設利用者と交流できる機会があるとよい。 • 例えば、高齢者のスキルを活かしたボランティアとして、手芸教室などのプログラムがあるとよい。 • また、プログラムは、住民と子どもの交流だけでなく、若いママさんに高齢者が知恵を伝えるようなきっかけにもなるとよい。 • そのようなプログラムにより、地域での顔見知りの関係につながり、施設外でも日常的な子どもや高齢者の見守りにもつながることが期待される。 	<p>【開館日】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 児童クラブは日曜以外開設しているため、施設全体も開館日とするべき。（児童クラブに所属していない子どもがうらやましがらため、児童クラブだけ開けて多目的ルームなどは閉鎖とはしない。） • 公園が多くの人でにぎわいそうな日曜日は閉館でも良いのではないかな。 	<p>【ごみの管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ごみは原則持ち帰りとしたい。施設内にごみ箱を設置しないようにしてはどうか。 • トイレにはオムツ用のごみ袋を置いてよいのではないかな。（その袋にごみが入られないような工夫は必要である。）

－ 第4回コンセプト検討会 －

第4回 (仮称) ふれあいの杜子ども館 コンセプト検討会 開催結果

1. 開催概要

日 時：2019年7月29日(月) 18:30~20:30

場 所：樽川南第一会館(石狩市樽川8条2丁目)

参加者：公募市民 8名(4名欠席)

事務局 石狩市子ども政策課 3名、石狩市建築住宅課 3名、株KITABA 4名

テーマ：プログラムや施設運用について

内 容：

○情報提供

- ・これまでの検討の振り返り、施設レイアウト(案)の確認、プログラムや施設運用の考え方について

○意見交換



2. 意見交換の結果

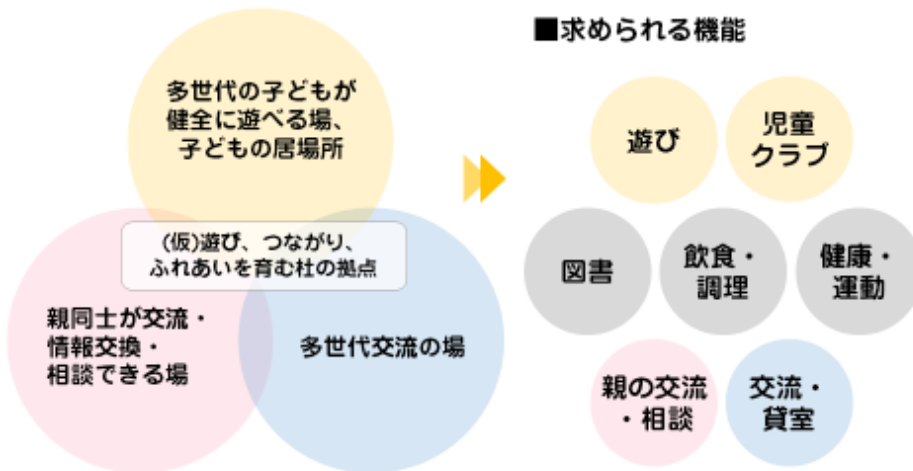
4名ずつのグループに分かれ、施設コンセプトについて意見交換を行った。また、施設レイアウト（案）をもとに、求められるプログラムや使い方、運用上配慮すべきことなどについても意見交換した。これまでの検討も含め、全ワークショップ終了後にコンセプト検討を取りまとめ、各委員へ後日報告することとなった。

以下に、全体のまとめ及び各グループの意見について整理する。

これまでの検討の振り返り

施設コンセプト

(仮)遊び、つながり、ふれあいを育む杜の拠点



提示したコンセプト（案）

施設レイアウト（案）

【中庭】

- ・中庭の開放性や植栽、植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。

【体育館】

- ・中庭の開放性や植栽、植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。

【図書室】

- ・中庭の開放性や植栽、植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。

【交流スペース】

- ・中庭の開放性や植栽、植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。

【自転車庫】

- ・中庭の開放性や植栽、植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。

【その他】

- ・中庭の開放性や植栽、植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。

【多目的ホール】

- ・中庭の開放性や植栽、植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。

【交流スペース】

- ・中庭の開放性や植栽、植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。

【図書室】

- ・中庭の開放性や植栽、植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。

【体育館】

- ・中庭の開放性や植栽、植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。

【中庭】

- ・中庭の開放性や植栽、植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。
- ・中庭の開放性や植栽の配置などで遊べる空間を創出。

これまでの検討を踏まえた施設レイアウト（案）

(1)全体まとめ

■コンセプトについて

○多世代が交流、利用できる場

- ・自由な施設であり、さまざまな方に利用してもらえるようなフレーズがよい。「いきいき」「気兼ねなく」「誰でもふれあえる」「育む」など
- ・「遊び」は子どものイメージであり、多世代交流のイメージがわからない。また、「つながり」や「ふれあい」は感覚的な言葉であるが、「遊び」だけ具体的な言葉であるため浮いてしまっている。
- ・さまざまな人が自由に過ごせるということを「遊び」と表現してもよいかもしれない。

○子どものイメージ

- ・もう少し小さい子どもたちのイメージが入るとよい。
- ・乳幼児から中高生まで幅広い年代の子どもたちを対象にしていることを伝えたい。

○施設の特徴

- ・「公園の中にある」「健康・運動に特化している」という施設の特徴がコンセプトから伝わらないのではないかな。

○その他配慮する点

- ・やわらかい雰囲気を出したい。
- ・別のキーワードを盛り込む場合、横文字ではなく、すぐに意味が分かる文言がよい。

■プログラムや運用方法について

○体育館

- ・児童クラブの子どもたちが多いため、時間帯で分けるなど混雑しない工夫が必要である。
- ・ダンスと球技が同時に遊べるよう、体育館を防球ネットなどで半分に仕切れるとよい。
- ・可動式のワゴンなどに遊び道具などを収納できると使い勝手がよい。
- ・イベント時など仮設ステージを設置できるとよい。
- ・ダンスやヨガ、体操教室など子どもから地域の方々まで利用できるよう、可動式の大きな鏡などを必要な時に設置できるとよい。(鏡の取り扱いには注意が必要)
- ・公園を利用したプログラムでも活用できるよう、体育館の倉庫は外からも開けられるようにした方がよい。

○遊具コーナー

- ・遊具コーナーの周辺には常にスタッフがいてほしい。
- ・公園がすぐ隣にあるため、大型遊具など設ける必要はないかもしれない。
- ・木玉プールは人気があるため設置してほしいが、移動が難しい。

○多目的ホール

- ・おじいちゃんおばあちゃんから教わる昔あそびのプログラムがあるとよい。

○文化活動室・フレキシブルコーナー

- ・ママさん向けの手芸教室などは開催できるとよい。
- ・ママさん向けの講座などを開催するときは、子どもを預かる体制を整える必要がある。スタッフを配置したり、保育ルームの一角をそのための空間としたりなど考えられる。

- ・地域の方から、使わなくなったおもちゃや服を寄付してもらい、貸出しやフリーマーケットを行ってはどうか。
- ・音楽で使用するならば防音設備が必要ではないか。
- ・学習塾として活用できるとよい。
- ・キッチンは、子ども食堂を想定する場合は現在のレイアウトでよいが、調理実習を行う場合は、器具や調理台の数が多く必要である。
- ・衛生面から、キッチンとその他の空間は仕切れるようにし、可動式壁はもう少しキッチン側に寄せるとよい。
- ・キッチンの調理器具や食器棚、オーブンなどの設備は、壁側に設置してはどうか。
- ・キッチンは、地域のイベントを行う際の調理場になったり、町内会の敬老会を行ったり、子ども食堂などに活用できそうである。

○保育ルーム

- ・ママさん同士の会話が生まれるよう、みんなで一緒にごはんを食べられる場所があるとよい。11:30~13:30を目途に、机を出してごはんを食べられる場所を設けてはどうか。

○受付・ミーティングスペース

- ・石狩は子育てサークルが少なく、また子ども・子育て世代向けのイベント情報などが行き届いていない気がするため、サークルや子育て世代の情報交換の場が必要である。
- ・風除室にオートロックがあると安心である。登録者はカードをかざして入場し、受付に寄らずに施設利用することも考えられる。登録していない方は、インターフォンで職員が対応することになる。
- ・一方で、地域に開かれた施設として、子どもたちも気軽に来るためには、オートロックにしない方がよいという考えもあるため、検討が必要である。

○その他・施設全体

【ボランティアの活躍、育成】

- ・既存の読み聞かせボランティアなどの団体に活躍していただきたい。
- ・子育てを終えた世代や地域の男性などにとっても、得意なことで活躍できる場にできるとよい。
- ・ボランティアを始めたくても機会がない人も多くいると思うため、団体だけでなく個人も参加しやすいよう配慮が必要である。
- ・個人ボランティアを募集する場合、してもらいたいこと、活かしてもらいたいスキルなどをできるだけ具体的に明記し、「自分も関われそう」と参加のきっかけや後押しとなるとうい。
- ・ボランティアの方向けに、子どもとの接し方などについての講習会が必要である。
- ・地域のボランティアの方が施設に出入りすることで、不審者も入りづらい安心な施設になるのではないか。

【他団体との連携】

- ・地域の少年消防クラブの活動拠点がないため、この施設を拠点とし、防災イベントの際に活躍できるとよい。

【災害時の施設活用】

- ・災害時、乳幼児連れの被災者が周囲に気兼ねなく過ごすための遊び場として開放できないか。

【掃除の意識】

- ・自分たちで掃除ができるよう、ハンドクリーナーを設置してはどうか。

○公園全体（施設と一体的に利用）

- ・児童館まつりや運動会などのイベントをしたい。
- ・公園に来た方を巻き込みながら、食を絡ませた季節を感じるイベントを行いたい。
- ・公園でキャンプをして災害時に役立つ知識などを学びあう防災イベントがあるとよい。
- ・水遊び、流しそうめん、足湯、ピザづくりなどができるとよい。
- ・冬は歩くスキーや雪だるま・雪像づくり、豚汁の提供、大人の本気の雪合戦などができるとよい。
- ・パパさんなど大人が子どもと一緒に遊べるプログラムがよいのではないか。
- ・外遊びの拠点として、この施設が活用されるとよい。

■その他

【野菜の栽培】

- ・畑などで自分たちで野菜を育てられるとよい。

【地域の方との植栽】

- ・駐輪場から自転車をはみださないよう、周辺に地域の方と子どもたちで花を植えてはどうか。

【自動販売機】

- ・施設内にも自動販売機があるとよい。
- ・自動販売機を外に設置する場合は、防犯カメラが必要である。

【環境配慮】

- ・雪氷熱の活用ができるとよい。

(2)各グループの意見

Aグループ

■コンセプトについて

- ・もう少し小さい子どもたちのイメージが入るとよい。
- ・「ふれあいを育む杜の拠点」という表現がよい。もう少し「遊び、つながり、」の部分にやわらかい雰囲気を出したい。
- ・地域の交流の場であることや小学生だけでなく中高生も利用できることを伝えたい。
- ・子どもたちも地域の方たちも、自由に遊び開けた場であるニュアンスを入れたい。
- ・「いきいき」「気兼ねなく」「誰でもふれあえる」などのフレーズを入れたい。
- ・乳幼児から中高生まで幅広い年代の子どもたちを対象にしていることを伝えたい。

■プログラムや運用方法について

○体育館

- ・児童クラブの子どもたち（50名想定）が多く、一斉に遊ぶことを考えると、児童クラブ以外の子どもが行きづらくなると考えられる。そのため、児童クラブの子どもたちを複数グループに分けて、体育館で遊ぶグループと児童クラブ内で遊ぶグループを時間帯で分けるなどして、混みあわないようにしてはどうか。特に長期休みは、子どもの数も増え混雑することが考えられる。

○遊具コーナー

- ・遊具コーナーの周辺には常にスタッフがいて見守ってほしい。
- ・安全性が懸念されるため、床材をクッション性のあるものにするなど考えられるが、一方で、公園がすぐ隣にあるため、大型遊具など設ける必要はないかもしれない。
- ・木玉プールは人気があるため設置してほしいが、移動が難しい。

○多目的ホール

- ・おじいちゃんおばあちゃんから教わる昔あそびは、きっと子どもたちも好きである。子育てを経た高齢者が醸し出すゆったりとした雰囲気が、子どもたちは好きだと思う。

○文化活動室・フレキシブルコーナー

- ・ママさん向けの手芸教室などは開催するとよい。
- ・ママさん向けの講座などを開催するときは、子どもを預かる体制を整える必要がある。スタッフを配置したり、保育ルームの一角をそのための空間としたりなど考えられる。
- ・地域の方から、使わなくなったおもちゃや服を寄付してもらい、フリーマーケットのように売ったりあげたりしてはどうか。

○保育ルーム

- ・ママさん同士の会話が生まれる機会として、みんなで一緒にごはんを食べられる場所があるとよい。11:30~13:30を目途に、机を出してごはんを食べられる場所を設けてはどうか。

○受付・ミーティングスペース

- ・石狩は子育てサークルが少なく、また子ども・子育て世代向けのイベント情報などが行き届いていない気がするため、サークルや子育て世代の情報交換の場が必要である。

○その他・施設全体

【ボランティアの育成】

- ・ボランティアの方向けに、子どもとの接し方などについての講習会が必要である。(ぼけっとままでは「じいじのあそび講座」を行っている。)

【掃除の意識】

- ・自分たちで掃除ができるよう、ハンドクリーナーを設置してはどうか。小学生は自分たちで掃除することを学ぶため、施設でも自分たちで汚したときは自分たちで掃除する、という意識をつけられるとよい。

○公園全体（施設と一体的に利用）

- ・児童館まつり（縁日や水を使った遊びなど）や運動会などのイベントをしたい。
- ・季節を感じるイベントを行いたい。夏は流しそうめんを食べ、冬は豚汁を食べたりゆきだるまをつくったり、食を絡ませながら、公園に来た方を巻き込んでイベントを行いたい。

■その他

【野菜の栽培】

- ・イベントで提供する野菜は、畑などで自分たちで育てられるとよい。

【地域の方との植栽】

- ・駐輪場から自転車がはみださないよう、周辺に地域の方と子どもたちで花を植えてはどうか。

Bグループ

■コンセプトについて

- ・「公園の中にある」ということや、「健康・運動に特化している」という施設の特徴がコンセプトから伝わらないのではないかな。
- ・「遊び」というキーワードは子どものイメージであり、多世代交流のイメージがわからないため、他の言葉の方がよいのではないかな。ただし、代替案は今は浮かばない。
- ・「つながり」や「ふれあい」は感覚的な言葉であるが、「遊び」だけ具体的な言葉であるため浮いてしまっているのかもしれない。
- ・さまざまな人が自由に過ごすことのできる施設として大きく捉えると、「遊び」という言葉でも問題ないかもしれない。捉え方によると思う。
- ・自由な施設として、間口を広くさまざまな方に利用してもらえそうなコンセプトの文言が求められる。
- ・「育む」という言葉は、多世代や学び合いがイメージできるため良い。
- ・別のキーワードを盛り込むとしても、横文字は使わない方がよい。アイヌ語などを使うことも最近が多いが、コンセプトですぐに意味が分かる文言がよいのではないかな。

■プログラムや運用方法について

○体育館

- ・ダンスは、文化活動室だけでなく体育館で行うことも考えられる。
- ・その際、球技でも遊べるように体育館を防球ネットなどで半分に仕切ることができるとよい。
- ・学校などの体育館では、ステージ下に机など収納しているため、そのように可動式のワゴンなどに遊び道具などを収納することができると使い勝手がよい。
- ・ステージがあれば、発表会などのイベント利用もしやすい。常設ではなく、組み立て式でステージを設置できるとよい。
- ・ダンスのほか、ヨガや体操教室など子どもから地域の方々まで利用できるよう、可動式の大きな鏡などを必要な時に設置できるとよい。(鏡の取り扱いには注意が必要)
- ・公園を利用したプログラムでも活用できるよう、体育館の倉庫は外からも開けられるようにした方がよい。

○文化活動室・フレキシブルコーナー

- ・キッチンは誰がどのように使うことを想定するのかわかり、作りが変わってくる。
- ・調理実習を行う場合は、もう少し器具や調理台の数が必要である。
- ・子ども食堂のように、だれかがキッチンで作って、それをその他テーブルで食べるくらいであれば、今のレイアウト案でも問題なさそうである。
- ・しかし、衛生面からもキッチンとその他の空間で仕切れるよう稼働式の壁はもう少しキッチン側に寄せるとよい。
- ・また、調理器具や食器を収納する棚やオープンなどの設備は、壁側に設置してはどうか。
- ・キッチンは、地域のイベントを行う際の調理場になったり、町内会の敬老会を行ったり、子ども食堂などに活用できそうである。
- ・調理以外では、音楽で使用するならば防音設備が必要ではないか。
- ・また、学習塾にも活用できるとよい。

○受付・ミーティングスペース

- ・防犯面では、風除室のところにオートロックがあると安心である。そうすると、登録者はカードをかざして入場し、受付に寄らずに施設利用することも考えられる。登録していない方は、インターフォンで職員が対応することになる。
- ・市外の方なども来る施設になるため、セキュリティはしっかりとしたい。
- ・一方で、地域に開かれた施設として、子どもたちも気軽に来るためには、オートロックにしない方がよいという考えもある。

○その他・施設全体

【ボランティアの活躍】

- ・読み聞かせボランティアなどの団体は市内に既にいるため、団体の方からボランティアや活動をしたいと声掛けがあるかもしれない。そういった方々に活躍していただきたい。
- ・一方で、個人でボランティアを始めたくても機会がない人も多くいると思うため、団体だけでなく個人も参加しやすいよう配慮が必要である。
- ・個人ボランティアを募集する場合、してもらいたいこと、活かしてもらいたいスキルなどをできるだけ具体的に明記し、「自分も関われそう」と参加のきっかけや後押しとなるとよい。

- ・子育てを終えた世代や、地域の男性などにも活躍してもらいたい。
- ・楽器など音楽が得意な男性は結構いるので、そういう方も活躍の場面がありそうである。
- ・地域のボランティアの方が施設に出入りすることで、不審者も入りづらい安心な施設になるのではないか。

【他団体との連携】

- ・地域の少年消防クラブ（子ども会が主体で、隊員の子どもが一般の子に消火器の使い方などを教える団体）の活動拠点がないため、この施設が拠点になるとよい。
- ・防災イベントの際も、少年消防クラブが活躍できる場となるとよい。

【災害時の施設活用】

- ・災害時の避難場所にはならないが、避難所で生活する乳幼児連れの方が周囲に気兼ねなく過ごすための遊び場として開放できないか。

○公園全体（施設と一体的に利用）

- ・防災イベントとして、公園でキャンプをして災害時に役立つ知識などを学びあうプログラムがあるとよい。
- ・夏は水遊び、足湯、ピザづくりなどができるとよい。
- ・冬の活用も考える必要がある。歩くスキーや雪だるま・雪像づくり、大人の本気の雪合戦などもよい。
- ・パパさんなど大人が子どもと一緒に遊べるプログラムがよいのではないか。
- ・そういう外遊びの拠点として、この施設が活用されるとよい。

■その他

【自販機】

- ・テラスなど自販機を外に設置する場合は、防犯上カメラが必要である。
- ・施設内にも自販機があるとよい。

【環境配慮】

- ・雪氷熱の活用ができるとよい。

第4回検討会 意見まとめ ～プログラムや施設運用について～

【多目的ホール】

・おじいちゃんおばあちゃんから教わる**昔あそび**のプログラムがあるとよい。

【遊具コーナー】

- ・周辺には**常にスタッフがいてほしい**。
- ・公園がすぐ隣にあるため、大型遊具など設ける必要はないかもしれない。
- ・木玉プールは人気があるため設置してほしいが、移動が難しい。

【体育館】

- ・児童クラブの子どもたちが多いため、**時間帯で分けるなど混雑しない工夫**が必要である。
- ・ダンスと球技が同時に遊べるよう、体育館を防球ネットなどで**半分に仕切れるとよい**。
- ・可動式のワゴンなどに遊び道具などを**収納**できると使い勝手がよい。
- ・イベント時など**仮設ステージを設置**できるとよい。
- ・ダンスやヨガ、体操教室など子どもから地域の方々まで利用できるよう、**可動式の大きな鏡**などを必要な時に設置できるとよい。(鏡の取り扱いには注意が必要)
- ・公園を利用したプログラムでも活用できるよう、体育館の**倉庫は外からも開けられるように**した方がよい。

【受付・事務所】

- ・石狩は子育てサークルが少なく、また子ども・子育て世代向けのイベント情報などが行き届いていない気がするため、サークルや子育て世代の**情報交換の場**が必要である。
- ・風除室に**オートロック**があると安心である。登録者はカードをかざして入場し、受付に寄らずに施設利用することも考えられる。登録していない方は、インターフォンで職員が対応することになる。
- ・一方で、地域に開かれた施設として、子どもたちも気軽に来るためには、オートロックにしない方がよいという考えもあるため、検討が必要である。

■その他

【野菜の栽培】

・畑などで自分たちで**野菜を育てられるとよい**。

【地域の方との植栽】

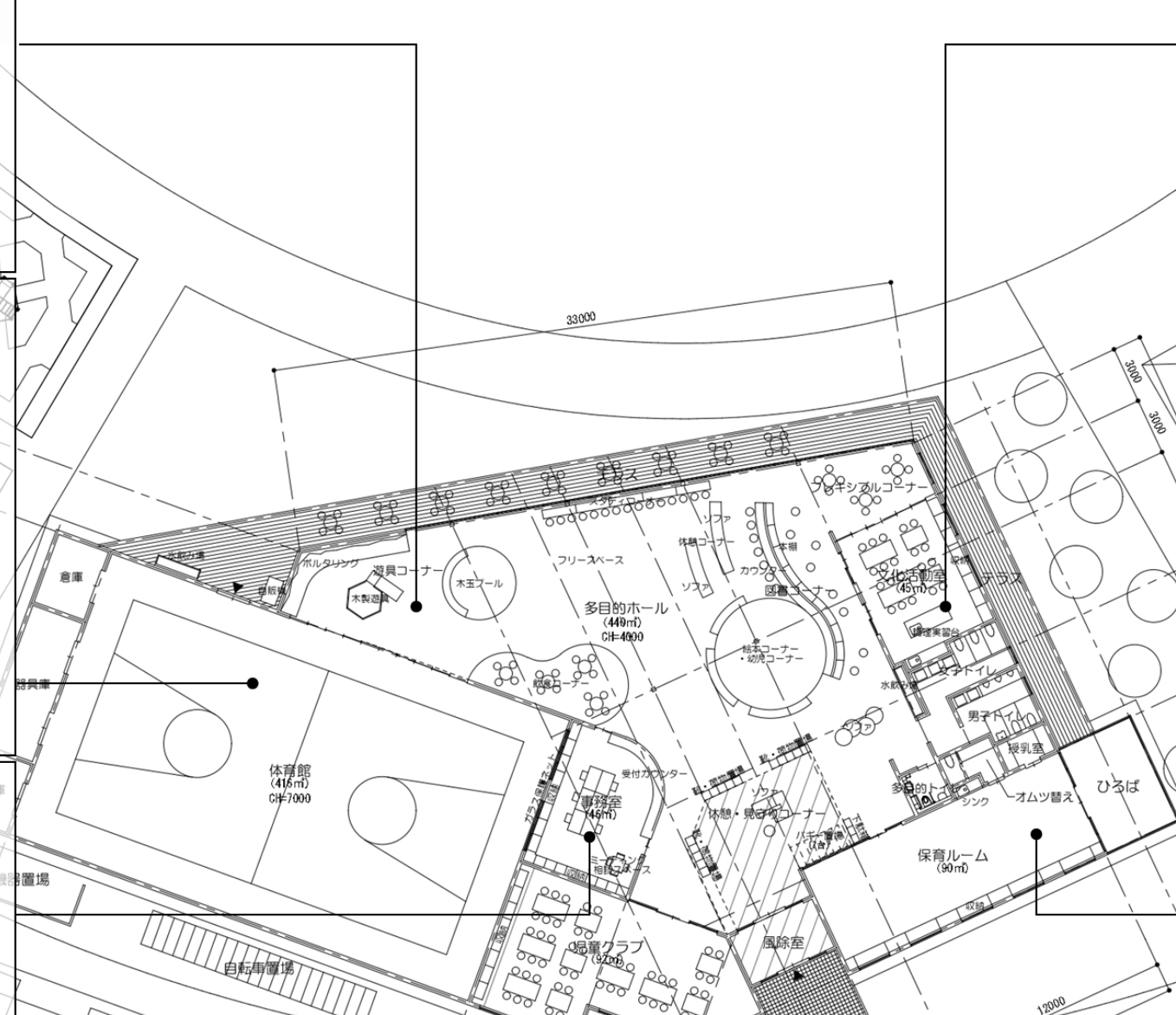
・駐輪場から自転車をはみださないよう、周辺に**地域の方と子どもたちで花を植えて**はどうか。

【自販機】

- ・施設内にも**自動販売機**があるとよい。
- ・自動販売機を外に設置する場合は、**防犯カメラ**が必要である。

【環境配慮】

・**雪氷熱の活用**ができるとよい。



【文化活動室・フレキシブルコーナー】

- ・ママさん向けの**手芸教室**などは開催できるとよい。
- ・ママさん向けの講座などを開催するときは、**子どもを預かる体制**を整える必要がある。スタッフを配置したり、保育ルームの一角をそのための空間としたりなど考えられる。
- ・地域の方から、使わなくなったおもちゃや服を寄付してもらい、**貸出しやフリーマーケット**を行ってはどうか。
- ・音楽で使用するならば**防音設備**が必要ではないか。
- ・**学習塾**として活用できるとよい。
- ・キッチンは、子ども食堂を想定する場合は現在のレイアウトでよいが、調理実習を行う場合は、器具や調理台の数が多く必要である。
- ・衛生面から、**キッチンとその他の空間は仕切れるように**し、可動式壁はもう少しキッチン側に寄せるとよい。
- ・キッチンの調理器具や食器棚、オープンなどの設備は、壁側に設置してはどうか。
- ・キッチンは、地域のイベントを行う際の調理場になったり、町内会の敬老会を行ったり、子ども食堂などに活用できそうである。

【保育ルーム】

- ・ママさん同士の会話が生まれるよう、**みんなで一緒にごはんを食べられる場所**があるとよい。
- ・11:30~13:30を目途に、机を出してごはんを食べられる場所を設けてはどうか。

■その他・施設全体

【ボランティアの活躍、育成】

- ・既存の**読み聞かせボランティアなどの団体**に活躍していただきたい。
- ・子育てを終えた世代や地域の男性などにとっても、**得意なこと**で活躍できる場があるとよい。
- ・ボランティアを始めたくても機会がない人も多くいると思うため、団体だけでなく**個人も参加しやすいよう配慮が必要**である。
- ・個人ボランティアを募集する場合、してもらいたいこと、活かしてもらいたいスキルなどをできるだけ具体的に明記し、「自分も関われそう」と**参加のきっかけ**や**後押し**となるとよい。
- ・ボランティアの方向けに、**子どもとの接し方などについての講習会が必要**である。
- ・地域のボランティアの方が施設に出入りすることで、不審者も入りづらい安心な施設になるのではないかと。

【他団体との連携】

- ・地域の少年消防クラブの活動拠点がないため、この施設を拠点とし、防災イベントの際に活躍できるとよい。

【災害時の施設活用】

- ・災害時、乳幼児連れの被災者が周囲に気兼ねなく過ごすための遊び場として開放できないか。

【掃除の意識】

- ・自分たちで掃除ができるよう、ハンドクリーナーを設置してはどうか。

【公園全体(施設と一体的に利用)】

- ・**児童館まつり**や**運動会**などのイベントをしたい。
- ・公園に来た方を巻き込みながら、食を絡めた**季節を感じるイベント**を行いたい。
- ・公園でキャンプをして災害時に役立つ知識などを学びあう**防災イベント**があるとよい。
- ・夏は水遊び、流しそうめん、足湯、ピザづくりなどができるとよい。
- ・冬は歩くスキーや雪だるま・雪像づくり、豚汁の提供、大人の本気の雪合戦などができるとよい。
- ・パパさんなど**大人が子どもと一緒に遊べるプログラム**がよいのではないかと。
- ・**外遊びの拠点**として、この施設が活用されるとよい。